

取扱説明書



ワークベンチ

注文コード:74186858

このたびは、ワークベンチをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用前に本書を必ずお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。また、いつでも取り出せる場所に必ず保管してください。

1 安全にお使いいただくために

ここに書かれた注意事項は、人体への危害や財産への損害を未然に防止するための内容です。

いずれも安全にお使いいただくためには重要ですので、必ずお守りください。

警告 この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、「死亡または重傷を負うおそれがある」内容です。

注意 この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、「ケガや傷害を負うこと、製品の破損やそれに伴う財産の損害が発生するおそれがある」内容です。

ご使用上の注意

【はじめに】 誤った使用方法により人的傷害や製品の破損、その他の物的損害が生じた場合、一切の補償、責任を負いません。
また、本製品の分解・改造・修理は、決して行わないでください。

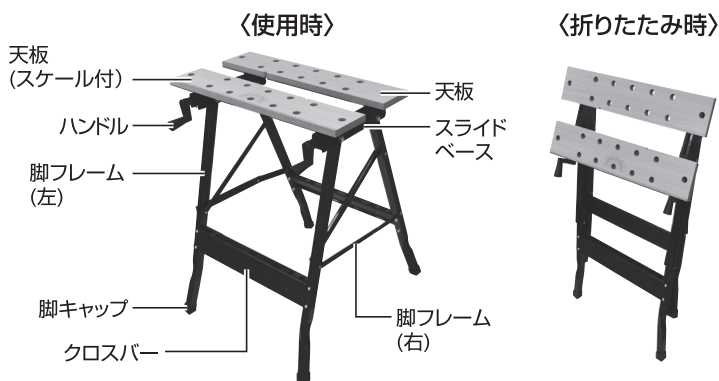
警告

- 本来の用途以外では使用しないでください。
- 本製品の組立は、記載している手順、方法通りに行ってください。誤った手順、方法で行うと、ケガや破損のおそれがあります。
- 組立する時は、小さなお子様に注意し安全な広い場所で行ってください。
- 必ず水平で安定した床面に設置し、傾斜や段差のある不安定な場所では使用しないでください。転倒により、ケガや破損のおそれがあります
- 耐荷重は30kgです。耐荷重を超えての加工物には使用しないでください。
- ストッパーを使用して作業をする場合は、加工材をストッパーでしっかりと固定してから作業してください。
- 定期的にぐらつきが無いか確認し、ボルト、ネジを締め直してください。
- 乱暴な取扱い方はしないでください。ケガや故障、破損のおそれがあります。
- 脚フレームを折りたたむ時や、スライドハンドルを回して天板を動かす時は、手や指を挟まないように注意してください。
- 作業場所には作業関係者以外を近づけないでください。
- 小さなお子様の手が届かない場所に設置し、必ず大人の方が常に管理できる状況でご使用ください。

注意

- 本品は一般家庭での使用を目的に設計されています。業務用として使用しないでください。
- 組立てする時は、本製品および床などを傷つけないように注意してください。
- 本製品は屋内用です。屋外での使用は腐食や錆、変色の原因になりますので避けてください。
- 直射日光の当たる場所、温度が急変する場所、雨・水のかかりやすい場所を避け、風通しの良い所で使用、保管してください。
- オイル、水などをこぼした時は、そのまま放置せず速やかにふき取ってください。本製品の変色、変形の原因になります。
- 汚れた場合は、薄めた中性洗剤を使用して布で拭いてください。その後乾いた布でただちに乾拭きしてください。
- 本体をシンナー、ベンジンなどでは拭かないでください。変形や変色につながるおそれがあります。また天板表面のスケール表示が剥がれますのでご注意ください。

2 各部の名称

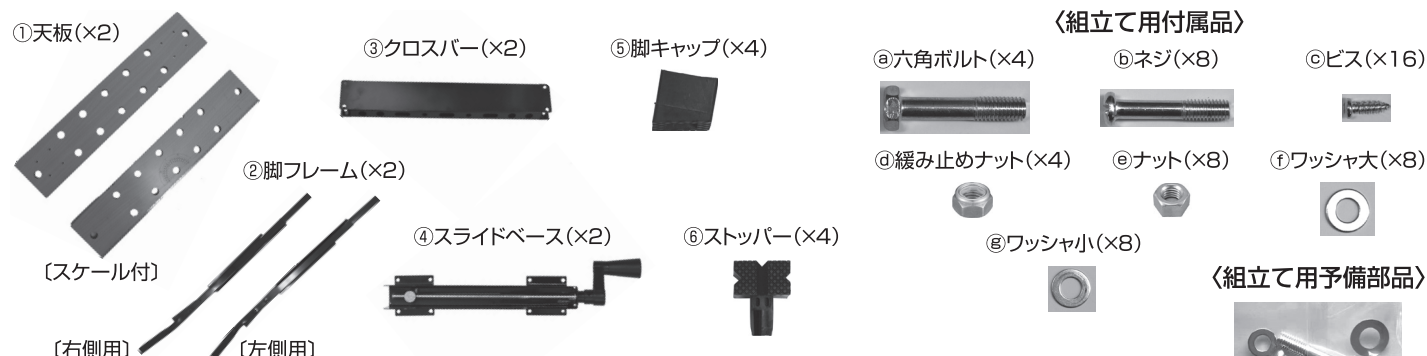


仕様

サイズ(mm)	{使用時}幅605×奥行635×高さ750
	{収納時}幅605×奥行130×高さ920
耐荷重(kg)	30
材質	(天板):MDF材 (脚フレーム・クロスバー・スライドベース):スチール (脚キャップ・ストッパー):ポリプロピレン
質量(kg)	約5.3

※ 上記の仕様は、予告なしに変更することがあります。

3 セット内容



※組立て用工具は付属されていません。10,13mmのスパナ(メガネ)、プラスドライバーをご用意ください。

4 組立て方

※ 組立て用工具は付属されていません。10,13mmのスパナ(メガネ)、プラスドライバーをご用意ください。

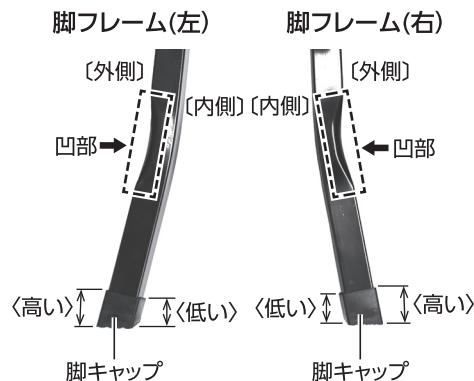
①脚フレームの展開

- 脚フレーム(左/右)の折りたたみヒンジ部を上を持ち上げて、真っすぐになるまで広げます。



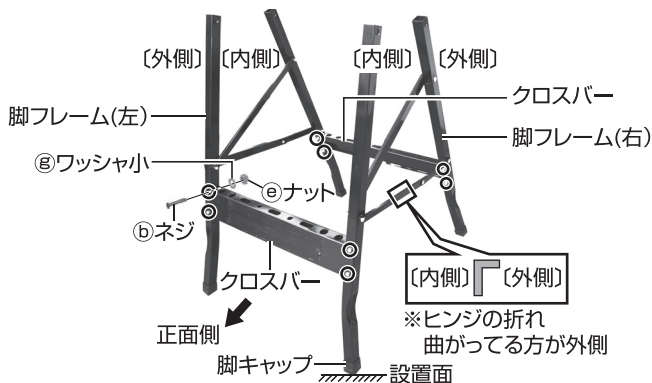
②脚キャップの取り付け

- 1 脚フレームにキャップを取り付けます。脚フレームの凹部下からフレームは外側に反っています。また脚フレーム凹部から下の長さが短い方が設置面となります。
- 2 キャップの高さが高い方を、本体外側の角になるよう取り付けます。



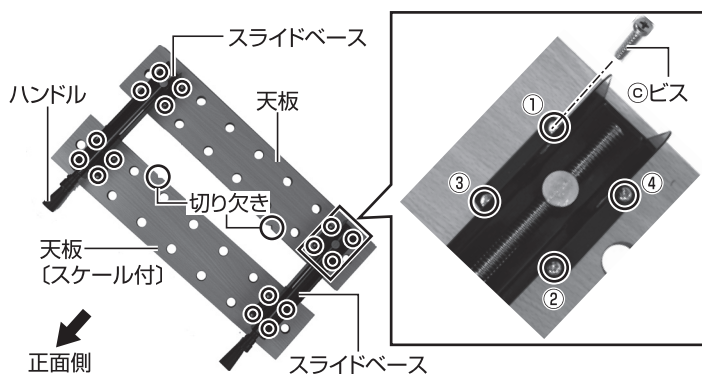
③脚フレームとクロスバーの組付け

- 1 脚フレームのヒンジ部の折れ曲がってる方を外側、脚キャップを取り付けている方を設置面側にしてクロスバー(前/後)をネジとワッシャ、ナットで仮締めします。
※ クロスバーは前後とも同部品です。
- 2 全数(8箇所)のネジとナットを本締めをしてください。



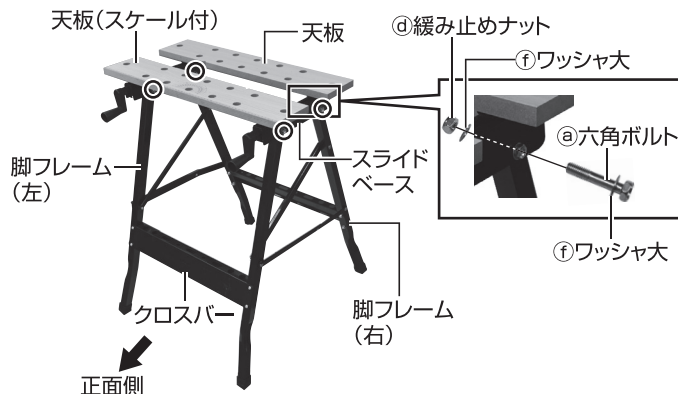
④天板にスライドベースを取り付ける

- 1 天板を裏返し、切り欠きが内側同士になるよう合わせます。
- 2 スライドベースの取り付け穴と天板に開いているビス穴が重なるように置きます。
※ スケールが印字されている天板がスライドベースのハンドル側になります。
- 3 ネジを図の丸数字に示す順序で3~4回に分けて均等に仮締めしてから全数(4本×4箇所)を、本締めをしてください。



⑤脚フレームに天板を取り付ける

- 1 脚フレームを正面側にして天板をはめ込みます。
- 2 全数(4箇所)のボルトとナットを仮締めした後、本締めをしてください。



⚠ 警告

- 組立てが終われば、ボルト、ナット、ネジ、ビスの緩みがないか確認してください。不十分ですと使用中に製品が破損しケガをするおそれがあります。
- 製品の傾き、ガタ付きがないか確認してください。不具合がある時は、組立て手順に従い組立作業をやり直してください。

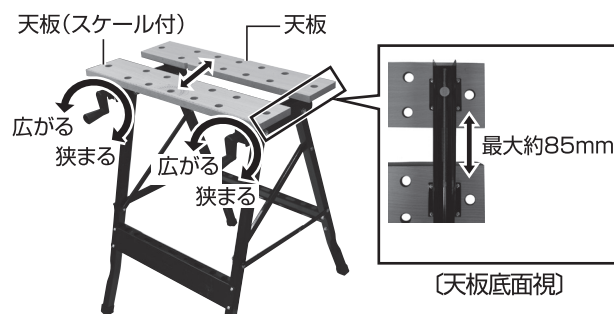
5 使用方法

■ 天板すき間の調整方法

- ハンドルを時計回りに回すと天板のすき間は閉まり(狭まる)ます。
反時計回りに回すと天板のすき間は開き(広がる)ます。

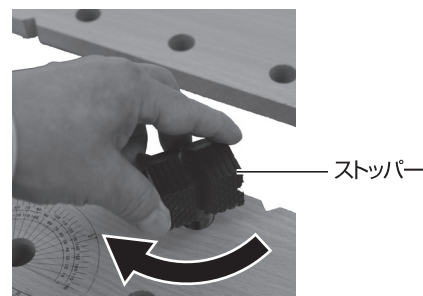
⚠ 注意

- 天板のすき間は最大約85mmです。それ以上に無理にハンドルを回すと破損するおそれがあります。
- ハンドルの動きが悪い時は、ハンドルのネジ部に注油してください。



■ ストッパーの取り付け

- ストッパーは天板の穴に対して、少し大き目のサイズに加工されています。
ストッパーは時計回りに回しながら取り付け、取り外しするとスムーズに行えます。



■ ストッパーの使用方法

- バイスとして加工物の固定に使用してください。形状によっては固定できない物もあります。

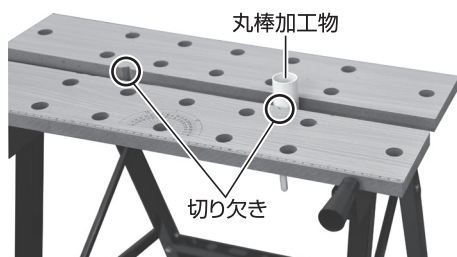
⚠ 警告

- サイズの大きな物、耐荷重を超える重量物には使用しないでください。
本製品が倒れたり損傷してケガをするおそれがあります。



■ 天板切り欠き

- 天板の切り欠き加工部は、丸棒などの加工物を挟む場合などに使用してください。



■ ツールラック

- クロスバー(前/後)の上部には、ドライバー、スパナなどの工具を差し込める穴加工が施されておりツールラックとして使用できます。

⚠ 警告

- クロスバーの上に腰掛けたり乗ったりしないでください。
転倒したり、本製品が損傷してケガをするおそれがあります。



6 折りたたみ方法

- 1 左右の脚フレームのヒンジ部から折りたたみ部を上側に持ち上げます。
- 2 天板を手前に倒して折りたたみます。

⚠ 警告

- 脚フレームの可動部などに指、手などを挟まないようにしてください。

